

### <学校の選び方>

UK 人含め、学校を選ぶ際に最も一般的なものは OFSTED のスコア。

あとはオープンデーに雰囲気を見学に行くのも大事。

OFSTED で Good や Outstanding となっている学校は非常に人気が高いため、学校入学のために近くに引っ越し人もいる (Catchment area が絞られている)

Primary school だけでなく Nursery 等も載っているので、網羅的に確認が出来る。

<https://reports.ofsted.gov.uk/>

### <申し込み方>

市役所の公式サイトで申し込み。

年度途中 (In year) の入学希望なのか、年度初めの 9 月希望なのかでフォームが分かれている。

優先度は距離+同じ学校に通う兄弟の有無等で決まる。

通常のタイミング (9 月の入学) で申請が出せるのであれば優先度 (距離+同じ学校に通う兄弟の有無、等) で可否が決まります。

<https://www.milton-keynes.gov.uk/schools-and-lifelong-learning/school-admissions>

### <Tips> ※実駐在員の実体験談など

Google Map を使って実際に mapping してから考え始めた方が多いようです。

近場の学校に申し込んだが、入れなかった人が多数います。その場合、少し離れた学校か、私立に入れた。

実際に子供が UK に住んでいるエビデンスがないと、正式なエントリーとして扱ってもらえず、話が進展しづらい。

どの学校に通うにしても通常の募集タイミングに間に合わないのであればカウンスルおよび希望の学校へのコンタクトは早いに越したことはない。4 月赴任だとこのタイミングに間に合わないのがネックで、特別な調整が必要。

Pre School 側とコンタクトを取ったのち書類対応等々を 2,3 日で対応て完了、15h/week が無償なのでそのための申請書類について記載対応が必要。

赴任直後、直接 Nursery にいくつか見学に行き、一番合うところで直接入学の調整をしました。一杯でしたら Waiting list にも載せてくれるはずですし、状況次第では公聴会に仲裁をお願いできます。

例えば成績でクラスをわけるとある公立学校では（OFSTED スコアは良い学校）、英語が母国語で無い児童が多くなり勝手な成績が低いクラスでは授業の質・レベルが落ちると聞いた

英語が母国語で無い児童に対して EAL(English as an additional language)の教師がついて、英語の授業を特別にやってくれる学校もあるらしい。

赴任家族が歴代住んでいるようなエリアの学校ではやはり先生達も日本人の扱いに慣れていきます。

日本で外国人教師の集中指導を受けさせてから、こちらに来たのは良かった。語学力については要した費用や時間ほどは向上しませんでした。外国人と話すことに対する抵抗を和らげることができ、現地での成長の助けに繋がったと考えています。

メール・電話だとつながらない・返事が来ない場合があり、直接学校を訪ねて状況をしらべた。

#### <学校情報>※駐在員からの経験談

Caldecotte Lake から近い Puddle ducks Pre School に通わせている方は、清潔で、メール対応も早い、かつ多言語対応に慣れている学校で英語のできない子供でもうまく対応してもらえている。

Broughton Manor Preparatory School（私立）は、現地校の中でも多国籍な人が集まるインターナショナルスクールに近い雰囲気、私立だけあってサポートも手厚い。ナーサリーも併設されている。